

会 議 録

1 会議名

令和元年度第4回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

3 開催日時

令和元年7月30日（火）午後6時30分から午後7時34分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、佐藤寿美子、佐藤峰生、
坪田 剛、寺島和枝、荷屋和夫、樋口清和、平野宏一、山田ヒロ子、
横田正美（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：安達副会長に依頼

議題【協議事項】地域活動支援事業（追加募集）について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・資料No.1 「令和元年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業（追加募集）提案書受付一覧」に基づき説明

【高橋会長】

それでは提案No.1 から順に各委員の意見等があれば伺いたい。

「No.1 谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」について質疑を求める。

【安達副会長】

現在、土口と西山寺で練習等を行っていると思うが、しばらくは確実に使用するのか。そして、西山寺の土地所有者は個人だが「返してほしい」と言うことはないのか。

【高橋会長】

練習は毎週行っており、現在も使用頻度は多いとのこと。

土地は提案団体で土地使用の承諾書をいただいているため「返してほしい」と言われることはない。

【安達副会長】

高住にもゲートボール場があるが、現在は使われていない。土口と西山寺も同じようなことにならないためにも有効的に活用していただきたい。

【高橋会長】

- ・「No.2 谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業（追加事業）」について、質疑を求めるがなし

次に「No.3 旧高住小学校歴史存続事業」について質疑を求める。

【佐藤峰雄委員】

本来であれば、卒業生に寄付を募って行う事業なのではないか。地域活動支援事業で実施するのであれば、旧高住小学校、旧長浜小学校、旧有間川小学校の3校の歴史を残すという内容の事業で展開すべきだと思っている。

そして、地域活性化のための企画をセットにして行うということが絶対条件である。来年度以降、どのように進めていくのかという展開がなければ難しいと思っている。

【樋口委員】

旧長浜小学校や旧有間川小学校には記念碑がないのか。

【高橋会長】

何もない。

【樋口委員】

では今年、当提案を採択すれば、来年度以降、同じような提案が出てくるかもしれない。そして、採択をせざるを得ない状況になる。

【高橋会長】

可能性としてはなくはないため、そこも含めて意見交換ができればと思っている。

旧桑取小学校に記念碑が建っているが、建った経緯を知っている委員はいるか。

【樋口委員】

閉校した際、同窓会名簿を作成して寄付を募り、寄付していただいたお金の一部を石碑に使わせていただいたという経緯がある。

【安達副会長】

3校が統合する際、いろいろな問題があったと聞いている。そのため「閉校するから記念碑を造ろう」という話は、どこからも出なかったのではないか。

旧長浜小学校はどうだったか。

【坪田委員】

そのような話は全く出ていない。ただ、当提案が採択されると波及効果は出てくると思う。記念碑を造った場合、メンテナンス等の管理をしながら維持していくのかとなったら、少し疑問を感じる。今まで同じような事例がないため難しい判断だと思っている。

【安達副会長】

門柱移設もするとのことだが、移設工事に費用が掛かっている。そして、設置場所が山に近いため、将来的には山に潰されてしまうのではないか。もう少し県道沿いにすることはできなかったのか。

卒業生から寄付を募り、旧長浜小学校や旧有間川小学校にも小さな記念碑を造れたら良いと思っている。

【樋口委員】

盛り上がっているのは今だけで、それが何年も続くとは限らない。

【佐藤寿美子委員】

高住に住んでおられる人からは「石碑を立ててどうするのか」ということを聞いた。

【高橋会長】

石碑の設置場所も奥のほうに設置することになっているが、そこも疑問を感じる。

【安達副会長】

現在、入り口に立っている門柱は謂れがあり、西山寺の川原から持ってきたものを加

工して造ったものであり趣がある。

【滝澤センター長】

提案者から聴いていることは、現在、高住多目的センターが使えなくなり、地域の繋がりが薄れてきたということがあった。そのため、閉校50周年を前に高住小学校がその場に建っていたということを残しておきたいというお話だった。

提案者は谷浜地区南部協和会として地域のことを考え、事業を実施したいという強い思いで取り組んでおられる。地域でイベント等が行われる際は、該当地を集合場所にしており、該当地を大切にしていきたいということで提案された。

事務局としては石碑を立てるだけでは難しいというお話をする中で、提案者からは当時の写真をパネルにし、小学校や中学校の文化祭等で展示をし、地域の皆さんが昔のことを思い出せるような体制を作っていきたいとおっしゃっていた。

石碑の設置場所については、当初、県道沿いに建てたいという提案だったが、県道沿いは市の土地となっているため、今後を考えると建設地としては相応しくないという話を担当課からいただいたため、今回の提案内容となった。

【高橋会長】

パネルは何枚作成して、どこで保管するのか。

【滝澤センター長】

25点ほどを予定している。保管場所は公民館等で保管し、提案団体が責任を持って管理していく。

【坪田委員】

閉校から50年迎えることを機に、このような事業を行うということは、地域への意識付けとなると思う。地域住民へどれだけ周知されているのか。そして、石碑を造ることで、ほかの地域へも誘引できれば良いと思っている。

【高橋会長】

当提案が採択されれば、来年度以降、同じような提案が出てくるかもしれない。その際の取り扱いはどうするか。

【安達副会長】

次年度以降に同じような提案が出てきても、ほかに出てきている提案もあるので優先順位で決めれば良いのではないか。

【高橋会長】

では、来年度以降に同じような提案が出てくる可能性もあるので、我々としてもきちんとした意見を持って臨みたいと思う。

【佐藤峰雄委員】

地域の活性化をねらいにするのであれば、同窓生に声掛けをし、機運を盛り上げるということが必要だと思う。ヒアリングの際に確認しようと思うが、旧長浜小学校や旧有間川小学校の卒業生へも「一緒にやらないか」という声掛けが何故できなかったのか。

【高橋会長】

では、ヒアリングの際に確認していただきたい。

次に「No.4 西山寺バス停留所改築事業」についてだが、西山寺のバス停は拠点的なバス停になるのか。

【樋口委員】

現在のバス停の位置だと県道の道幅が狭く、工事をされると通りづらくなってしまわないか。

【高橋会長】

バス停を工夫するのは良いことだが、本当に必要なのかわからない。

【山田委員】

バスを使う子ども達もいないのではないか。

【佐藤寿美子委員】

2名ほどいる。

【坪田委員】

町内で協力を求めて改修することはできないのか。

【佐藤峰雄委員】

私の町内も皆さんから協力をお願いして改修する予定である。

皆さんが当提案を採決するためには、どのような提案だったら良いと思うか。

【高橋会長】

以前、西戸野のバス停を地域活動支援事業で改修したが、小・中学生が使うことが多く、拠点的な場所だったということと小・中学生から絵を描いてもらい展示しようということで採択した経緯があり、西山寺も地域の拠点にしたいということで提案されている。

【佐藤峰雄委員】

近隣のバス停も一緒に改修し、バス停巡りみたいなものを開催する等の発想であれば良い。西山寺のバス停を改修することによって、どのような効果があるのか、ということが見えないと厳しいのではないかと。

【高橋会長】

では、ヒアリングの際に確認しながら進めて行きたい。

- ・「No.5 地域文化活動充実事業」について、質疑を求めるがなし
- 次に「No.6 地域一体型体育祭事業」について、質疑を求める。

【安達副会長】

バスの運行についてだが、見積書を見ると桑取方面は土口までだし、鍋ヶ浦や茶屋ヶ原方面には出ないことになっている。子どもがいる家はバスを出さなくても自家用車等で来られると思うが、学校に通っている子どもがいない家からも参加してほしいということであれば、計画としてどうなのかと感じた。たくさんの地域住民から参加してほしいということであれば、土口より奥の横畑までバスを出すとか、茶屋ヶ原のほうまで出すとかしたほうが良いのではないかと。

【佐藤寿美子委員】

桑取のほうから乗る人はいないのではないかと。

【高橋会長】

今回の体育祭は、今まで小学生は小学校の行事として参加していたが、今年からは地域の一員として参加するとのこと。

中学生が主体となって地域の皆さんを呼び込んでいる。

それでは、疑問な点はヒアリングの際に確認していただければと思う。

- ・「No.7 子ども里神楽伝承事業」について、質疑を求めるがなし
- 次に「No.8 『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業」について、質疑を求める。

【荷屋委員】

今後、地元にお金が落ちるような方法を考えていただければ潤うと思うので頑張ってください。

【高橋会長】

確かに、そうならもらえると地元としても良いのではないかと。

以上で協議事項について終了とする。

次に「その他」について事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・次回協議会：8月6日（火）午後6時30分から

【高橋会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。